

■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は複層ガラス使用のため、組立て後の製品重量は最大30kgになります。施工は対応する人数で行ってください。
- 本製品は、複層ガラスを使用するため、かなりの重量がかかります。必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。サッシ下枠が垂れ下がり、障子が落下するおそれがあります。
- 指定のスクリーナ・木ねじで枠を固定した後、ガラスを入れてください。
- サッシ本体の取付け・ガラスの入れ方等は各製品の取付け説明書をご覧ください。
- 開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取り付けてください。
- 下記項目は、漏水の原因になるおそれがありますのでご注意ください。
 ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱い説明書を参照してください。
 ・枠の水平・垂直を正確に出して取り付けてください。
 ・F I X窓に付いている下枠補強ブラケットは、F I X部のガラス重量をささえる重要な部品です。必ず指定のねじで締めつけてください。下枠が垂れ下がる

■取付けねじ一覧表

単体サッシ本体に同梱			
①	②	③	④
φ4×20ナベタッピンねじ	φ2.1×25スクリーナ	φ3.5×20皿木ねじ	φ4×35皿タッピンねじ

■組立て後の取扱いとお願い

- 組立て後、枠を横にして持ちたり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。また、移動する場合は、立てたまま連窓方立部分をしっかり支持してください。ねじが抜けて破壊するおそれがあります。

■施工上のお願い

- テーブル板は、枠を固定する前に取り付けてください。後からでは取り付けられません。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■取付け順序

1 開口部の制作

- ①躯体の取付け面を平らにします。
- ②両方の窓台の高さを合わせ、水平にします。
- ③コーナー部の直角を正確に出します。
- ④補強した躯体の水平・垂直を確認します。

2 枠の仮止め

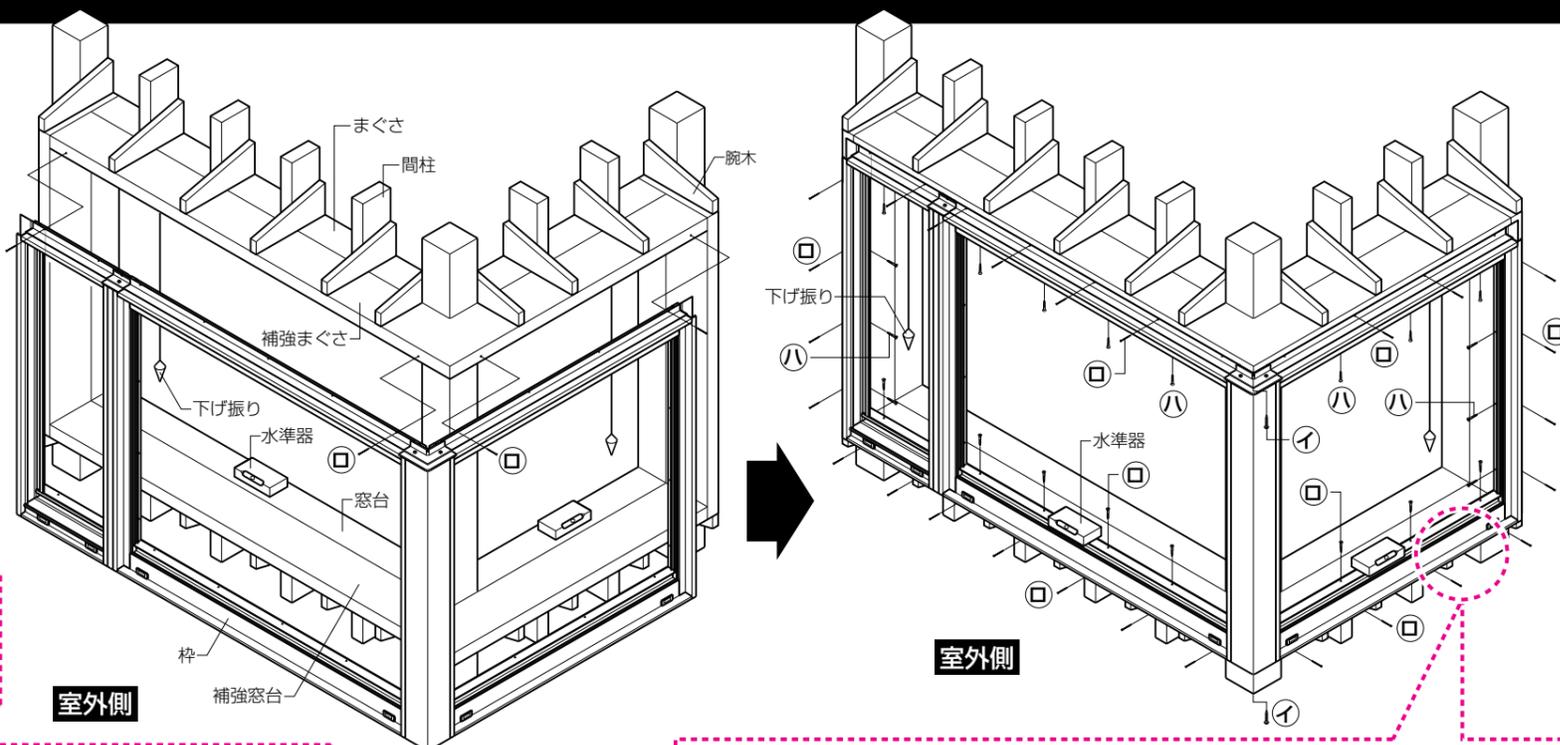
- 枠を仮止めします。

3 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・たおれ・ゆがみを直した後固定します。

▲注意

- 枠の水平・垂直を正確に出して取り付けてください。

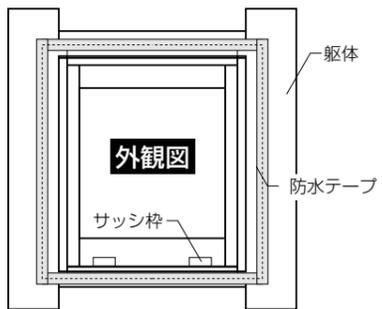


室外側

室外側

▲注意

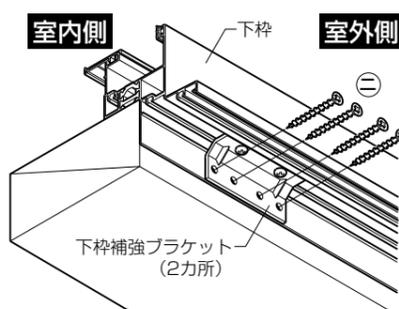
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。



外観図

▲注意

- 下枠補強ブラケットの固定(FIXの場合)
 ※下枠補強ブラケットは、FIX部のガラス重量をささえる重要な部品です。必ず指定のねじで締めつけてください。下枠が垂れ下がるおそれがあります。
 ※FIX部がW1871未満の場合は、下枠補強ブラケットの取付けはありません。

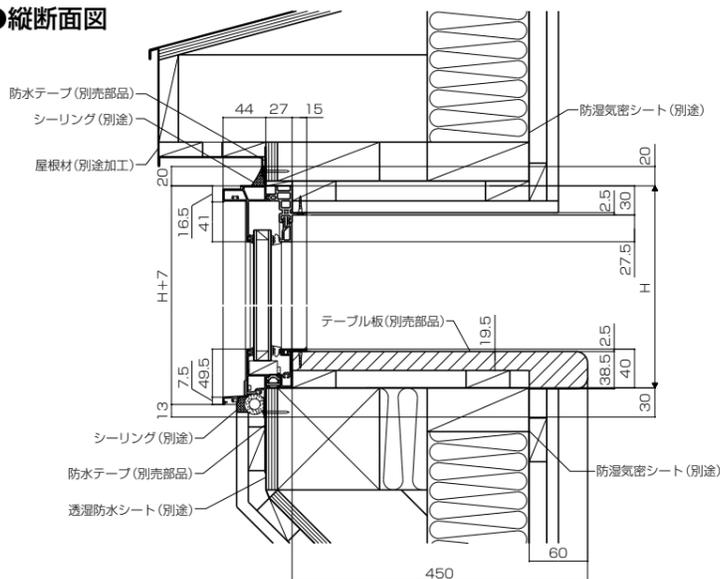


室内側

室外側

■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図

